

「飼い主のいない猫」の対策について

飼い主のいない猫（いわゆる野良猫）をかわいそうだと思う方がいる一方で、ふん尿や鳴き声などの問題が地域で発生しています。

◆主な苦情は

- ・庭に入ってきてふん尿をされて困る。
- ・敷地内で野良猫が子猫を産んだ。
- ・夜中の大きな鳴き声に悩まされている。・・・など

◆「エサやりを止めさせるべきだ」、というご意見が多く聞かれます。

- ・エサやりを止めることにより、飢えた猫がゴミあさりをするなど、かえって被害が拡大する恐れがありますので、エサやりを止めることは得策ではありません。

◆「猫は保健所で捕まれば良い」、というご意見も多く聞かれます。

- ・猫は「動物の愛護及び管理に関する法律第44条」により愛護動物とされており、みだりに殺したり傷つけたりすることは禁じられています。保健所、役場でも捕獲はしていません。



では、どうしたら良いのでしょうか？



●「飼い主のいない猫」の問題は、「地域猫活動」の取り組みで、解決を図ることができます。

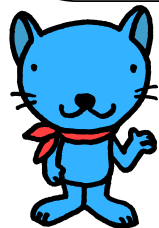
全国でも、飼い主のいない猫を排除するのではなく、共生しながら数を減らす「地域猫活動」という取り組みが広まっています。不妊手術を行って繁殖しないようにした上で、猫トイレの設置やエサの管理をし、一代限りの命を全うさせ、徐々に数を減らしていくという方法です。

※「地域猫活動」の詳細は、環境政策課までお問い合わせください。

今ある“猫の被害を防ぎたい方へ

飼い主のいない猫が減っていけば、被害は少なくなります。それには時間がかかります。「敷地に猫が入られると困る」という方には、防除をお願いしています。

- ①塩素系消毒薬をまく。（塩素系消毒液は100倍に水で薄めてまく。）
- ②ゴミをあさらないように、ゴミに網をかける。猫が入り込まないように、網を張る。
- ③侵入防止装置（超音波を出す機械）を置く。（効果が大きい。市価 15,000 円程度。）



- * 飼い猫の避妊・去勢手術費の助成を行っています。
- * 地域猫の取り組みについてのご相談をお受けしています。

【お問い合わせ：内灘町環境安全課 ☎286-6712】

猫が嫌われ者にならないために・・・

飼い主さんは、次の4つの事を守ってください。



①避妊・去勢手術をする

- ・猫はとても繁殖力のある動物です。
- ・むやみに繁殖させることが捨て猫や野良猫を増加させます。
- ・手術をすれば、感染症や発情によるトラブルがなくなります。

②家の中で飼う

- ・「猫は外で飼うもの」という考えは間違いです。
- ・外に出ると病気の感染や、交通事故に遭う等猫にとってストレスも大きくなります。
- ・手術により発情もなくなり穏やかになります。
- ・近所の庭に入ってきてふん尿をしたり等の迷惑をかけることはありません。

③最後まで大切に飼う

- ・一度飼育した猫を一生懸命飼育するのは、飼い主の責任です。
- ・猫を捨てることは犯罪行為になります。「動物愛護及び管理に関する法律第44条第3項」により愛護動物を遺棄した場合、50万円以下の罰金となります。
- ・飼育することがどうしても無理な場合は、新しい飼い主を探してください。

④身元の表示をする

- ・万一室内から逃げ出した場合でも、発見されるのに役立ちます。
- ・屋内飼育でも迷子札を着けましょう。

もしも迷子になったら
すぐに最寄の各施設＆警察へ！

| | |
|---------------------------|--------------|
| ◎内灘町役場環境安全課 | 076-286-6712 |
| ◎石川中央保健福祉センター 河北地域センター | 076-289-2177 |
| ◎津幡警察署生活安全課 | 076-288-3111 |

猫が嫌われ者にならないために・・・

飼い主のいない猫にエサを与えている方は、次の4つの事を守ってください。

野良猫が可哀そう…と、エサやりをしている人は、きっと心が優しい人です。けれど、エサやりだけをしていると野良猫が増え、ご近所トラブルになり、猫は嫌われ者になってしまいます。

①エサをあげる場所は・・・

- ・地域の方々に説明し、ご理解をいただく。
- ・特に、他人の敷地内や玄関先等でエサを与えるときは、必ず所有者の許可を得てください。

②エサをあげる時は・・・

- ・エサを置いたままにすると、ハエ・ゴキブリやカラスが集まり不衛生な上、いつでもエサを食べられるため他地域の猫も集まりやすくなります。エサを食べ終わったら、その場で片付け、清掃してください。



③ふん尿の始末をしてください。

- ・食べた後近くで排泄しますので、近隣にふん尿の被害が出ないように、猫の通り道などにトイレを設置しましょう。
- ※猫の尿はとても臭いが強いので、消臭剤などで臭いを消してください。

④増えないよう不妊手術をしてください。

- ・猫は年に2～3回出産します。生まれた子猫も半年後には出産しますので、1頭のメス猫が1年間で20頭以上に増えることがあります。「かわいい」、「かわいそう」という感情だけで餌をあげることは、不幸な猫を増やすことにしかありません。